

# 令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 袋井市立袋井南小学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・Ⅳ・⑤
2 実施対象者 (学年・人数)	<p>学校の実施：対象学年・クラス・人数等を記載してください。また、保護者の方や地域の方も参加した場合は、その内訳・人数等を記載してください。</p> <p>教育委員会の実施：市民フォーラム等を開催し、報告書を作成する場合も、学校名、生徒数などの内訳を記載してください。</p> <p>I・Vについては全校児童598人</p> <p>Ⅲについては4年生1～4組112人</p>
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動 次の5つの中から選択し○をつけてください【複数選択可】</p> <p>① 教科名 ( 南風 (総合的な学習の時間) )</p> <p>② 行事名 ( )</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<p>目標 (ねらい) について3～5行程度で記載してください。 ※表や図で視覚的に表現していただいても構いません。</p> <p>本年度、袋井市内の聖火リレーを本校6年生が見学し、他学年は中継映像を視聴したことを通して、高まりつつあったオリンピック・パラリンピックへの関心を持続させていくとともに、障がいを抱えている人や多国籍文化等に対する児童の理解・関心を深めたり、主体的な運動意欲を高めたりできるようにする。</p>
5 取組内容	<p>実践 (イベント等) の事前学習、事後学習の内容を含めてできるだけ多くの情報を記載してください。</p> <p>HP 等に掲載予定ですので、出来るだけ写真等を用いて、視覚的に記載してください。</p> <p>I・V：ポッチャセット、オリンピック・パラリンピック関連の書籍の購入</p> <p>ポッチャセットを購入することで、毎年4年生が総合的な学習の時間で福祉について調べたり体験したりするときに、パラスポーツに触れ合える環境を整える。</p> <p>書籍の購入をすることで全校児童が気軽にオリンピック・パラリンピックに興味を持つ、触れ合える環境を整える。</p> <p>3・5・6年生は、総合的な学習の時間に、オリンピックの調べ学習で使用する。</p> <p>Ⅲ：本校4年生がパラスポーツ体験として、フライングディスクに取り組む。</p> <p>総合的な学習の時間に「福祉」について調べ、障がいを持つ方の生活や、活躍の場について興味を持ったことをまとめ</p>

る。その中で、パラリンピック、パラスポーツに目を向け、社会福祉協議会の協力を得てフライングディスク体験を行った。

社会福祉協議会の方と弱視の方に指導していただき、障がいがあっても活躍できるスポーツがあること、障がいを抱える人との関わり方について理解を深めた。

【オリンピック・パラリンピック関連の書籍の活用】



【4年生「福祉」の調べ学習】



【フライングディスク体験】



6 主な成果

目標の内容、事前・事後学習の内容を踏まえ、実施事業から得られた成果を記載してください。

アンケート等を実施した場合には、実施事業の前後で変化があったと思われる部分を重点的に記載してください。

どの取り組み内容も、児童のオリンピック・パラリンピックへの興味をより高めるよい機会となった。

オリンピック開催時期は、全国的に盛り上がりが見られたため、本校でもテレビ中継を観て応援していたという児童が多かったが、本事業で調べ学習や体験的な活動を行ったことで、パラリンピックにも興味を持ち、オリンピック閉会後のパラリンピック中継も観戦したという児童が多くみられた。

7 実践において工夫した点  
(事業の特色)

学校が事業を実施するにあたって工夫した点(地域特有の伝統や地理的要因など他の学校・地域とは異なる成果が得られると思われる点)を記載してください。

例年、4年生では会福祉協議会と連携して、弱視の方や耳の不自由な方の講話の時間を設定しているが、本年度は、体験的な活動も取り入れ、児童が楽しみながら、「福祉」や、パラスポーツについて、興味をもったり親しんだりできるようにした点。

<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他校が同様な事例を行う場合や、今後同じような事業を計画するときに改善するべき点を記載してください。</li> <li>・東京大会以降、本取組が将来にわたって継続していくために必要な点や課題点と考えられる内容を記載してください。</li> </ul> <p>「総合的な学習の時間」の年間計画との兼ね合いを事前によく確認しておく必要があると感じた。本校は毎年4年生で「福祉」について、本年度は5、6年生でオリンピック・パラリンピックについての学習時間が計画されていたので、事業の実施もスムーズに行えたように思う。市の事業として6年生の聖火リレー見学もあったため、児童の東京大会への興味・関心も高かったが、東京大会以降のオリンピック・パラリンピックへの興味・関心を毎年高めるためには、「総合的な学習の時間」の年間計画をよく確認しておかなければいけないと思う。総合主任と足並みをそろえて、事業の計画をしていくことが必要だと感じた。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施校として、東京大会以降、どのように本事業を活用（継続・発展）していく予定か記載してください。</li> </ul> <p>購入していただいたボッチャセットやオリンピック・パラリンピック関連の書籍を、主に「総合的な学習の時間」で毎年活用したり、書籍を図書室に置くことで全校児童が気軽に読める環境を作ったりする。</p> <p>また、体育の授業や、スポーツ委員会の活動を通して、ボッチャやモルックの体験をする時間を計画する。</p>